

	<p>学校だより</p> <h1>芽吹き</h1>	<h2>教育目標</h2> <ol style="list-style-type: none"> 1 自ら学び、考え、実践できる人になろう (賢く) 2 思いやりのある、心豊かな人になろう (優しく) 3 心身ともに、たくましい人になろう (逞しく)
<p>NO.93</p>	<p>平成29年6月22日発行 中野区立南中野中学校</p>	

同年代

校長 池田 浩二

2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向けて、都内の小中学校では、オリンピック・パラリンピック教育が推進されています。本校でも、7月1日(土)に東京都教育委員会実施の「YOKOSO」プロジェクトの一環として、アトラクタ五輪女子バスケットボール日本代表の原田裕花(ゆか)さんをお招きし、生徒たちとのスポーツ交流を行う予定です。



スポーツ界といえば、フィギュアスケートの浅田真央さんが引退を発表し、記者会見が行われたと思ったら、今度は女子ゴルフの宮里藍さんが引退を発表しました。二人ともジュニア時代からその才能を発揮し、それぞれの種目を引っ張ってきた選手でした。

浅田真央選手が中学生で華やかな活躍をしているときに、当時勤務していた学校の朝礼で、「君たちと同年代の選手が、努力を積み重ねて活躍をしている。きっとオリンピックにも出場して活躍するだろうから、自分たちのこれからの進路と重ね合わせて注目してほしい」というような話をした記憶があります。

小学生時代からその実力を認められ、伸び盛りの中学生時代には、当時開催されたトリノオリンピックに出場してメダル獲得が確実と思われていましたが、「オリンピック開催年の6月30日までに15歳」という年齢制限に85日足りず、オリンピック代表にはなれませんでした。しかし、4年後のバンクーバー大会では銀メダルを獲得し、長く競技生活を続けていました。

先月の朝礼で、同じような話を南中野中の生徒たちにもしました。今回の同年代は、将棋の藤井聡太四段でした。将棋に興味を持っている生徒がどれだけいるかはわかりませんが、朝礼で話をした時点では16だった連勝記録を、今でも更新し続け脚光を浴びていますから、注目を始めた生徒も増えているのではないかと考えています。

将棋の世界だけではなく卓球界では13歳の張本智和選手、サッカー界では16歳の久保建英選手など、世界に通じる若い才能の躍進が目覚ましいように思います。早い時期からそれぞれのもつ個性や能力に注目し、支援育成するシステムができあがってきていることもあると思いますが、彼らの努力には素直に拍手が送れると思います。同年代の活躍は、これから自分の進路を決定していこうとしている中学生にとって、よい刺激にもなり励みにもなるのではないのでしょうか。

第9回運動会 6月3日(土)実施

完全燃焼 一致団結 ～ かがやけ九代目南中魂 ～

保健体育科 松井 由貴子

運動会3週間前から大縄跳びやソーラン節練習が開始され、本格的に運動会の練習が始まりました。毎年のこととはいえ、暑い最中の練習にもかかわらず、生徒たちは大きな声を出し、練習に励みました。運動会は今年で9回目ということもあり、縦割りの活動も3年生がリーダーシップを取って全体に呼びかけ、例年以上に各クラスの実行委員が細かい指示を出しながら自主的な活動を行うことができました。

運動会当日は多くの保護者や地域の方々に参観いただく中、三色の旗と応援旗を持っての入場行進からスタートし、どの競技も熱い勝負が繰り広げられました。中でも、南中野中学校の伝統となっている「南中ソーラン」は三年間かけて創り上げてきた踊りをクラスごとにテーマをもって取り組みました。ソーランは午後最初の種目、静寂から生徒たちの緊張感が最高潮になった状態での踊り出し。A組は低い姿勢で刻まれるリズムから力強く迫力ある演技、B組は徹底した基礎踊りに二つの塔の周辺を走り回る躍動的な演技、C組は個性的な隊形変化から立体的で一体感のある演技。どれも大変すばらしく、九代目南中ソーランとしての役目を果たすことができました。

運動会スローガンに掲げた「完全燃焼」と「一致団結」の目標を達成し、一人ひとりの生徒が「かがやいた第9回目の運動会」になりました。見守り、支えてくださった皆様に感謝をし、来年へとつなげていきたいと思えます。ありがとうございました。

学年別優勝 1年A組 2年A組 3年B組 縦割り総合優勝 A組

応援旗最優秀賞 1年A組



応援旗最優秀賞 2年C組



応援旗最優秀賞 3年B組



南中ソーラン 第1位 3年C組



都立中野特別支援学校との交流

本校は近隣の東京都立中野特別支援学校との交流教育を進めています。

5月31日に本校の運動会予行に中野特別支援学校中学部の1年生を招待し、運動会の学年競技を見学してもらいました。その際、本校生徒に向けて手作りの温かい応援メッセージ（右の写真）を頂きました。

これからも中野特別支援学校との間接交流や直接交流を通して、障害の有無にかかわらず、ともに力を合わせて生活できる「共生社会」を実現するために、多様性を尊重し、障害者を理解する心のバリアフリーを目指して交流を深めていきます。



第1回オープンキャンパス

平成29年6月9日（金）に第1回オープンキャンパスが行われました。みなみの小学校と南台小学校の6年生が本校を訪れ、小グループに分かれて中学校の授業と部活動の様子を見学してもらいました。生徒たちは、小学生が見ていることもあり、いつも以上に張り切って授業や部活動に取り組んでいました。直接中学生の活動の場面を見たり話を聞いたことで、小学校の児童が進学への安心感や期待感、中学校への憧れを抱いてくれたことと思います。



セーフティ教室

6月10日（土）のセーフティ教室では、「ネットコミュニケーション安全教室 インターネットの安心・安全な使い方」と題し、eネットキャラバン細野清文様を講師に生徒や保護者向けに安全講演会をしていただきました。特に保護者向けの講演では、次のような話がありました。

今の子どもたちは生まれたときからインターネットがあります。インターネットは世界に通じています。インターネット社会を自由に閲覧することは、現実社会において子ども一人で世界旅行に行かせていることと同じであると考えてください。ゲーム機でリセットやオールクリアすれば良いという考えの子どもが多いのですが、自らボタン一つクリックするだけで悪い世界に入ってしまう恐れがあります。日本のルールだけでなく世界のルールも関わってしまい取り返しのつかないことになるケースがあります。インターネットは包丁などと同じで「道具としての使い方」で決まるので、インターネットには「自己責任」と「判断する能力」が必要となってきます。

スマホや携帯の契約者である保護者が次のような観点で家庭内ルールを決めることが大切です。

- ・スマホや携帯を渡すときにルールを決める。
- ・スマホや携帯は連絡用であることを告げる。
- ・子どもと一緒に話合いで決める。
- ・決めたルールは紙に書いて見えるところに貼る。
- ・ルールには時間など明確に数値を盛り込んだものにする。
- ・初めが肝心、初めは厳しめに、成長に合わせて定期的に見直す。
- ・子どもだけでなく親も守る。
- ・何かあったら相談できる関係にする。
- ・使わない日を設定する（月に1回以上）。
- ・フィルタリングは必ずかける。

インターネット上のSNSなどでの書き込みが元になり、人間関係が悪くなるトラブルがどうしても起きてしまいます。各ご家庭でもスマホや携帯について話題にして、道具として安全な使い方を確認してください。



部活動の報告

ソフトテニス部 中野区中学校夏季選手権大会 団体第3位

バレーボール部 中野区中学校夏季選手権大会 第4位

女子バスケットボール部 中野区中学校夏季選手権大会

1回戦(6/11) 南中野 59-39 宝仙学園、2回戦(6/18) 南中野 27-67 第七中

男子バスケットボール部 中野区中学校夏季選手権大会

2回戦(6/18) 南中野 78-37 東大附属 3回戦(6/25) 南中野 - 緑野

7月(July・文月)の行事予定

日	曜	内 容	日	曜	内 容
1	土	学校公開日 夢★未来プロジェクト「YOKOSO」プログラム	17	月	海の日
2	日		18	火	大掃除
3	月	朝礼 安全指導 修学旅行事前検診 小乗り入れ(みなみの小)	19	水	研修会 部活再登校
4	火		20	木	全校集会 職員会議 地域班打合せ
5	水	学年会議	21	金	夏季休業日始 職員会議 三者面談始 補充学習① プール教室①
6	木	修学旅行(3)始	22	土	
7	金	修学旅行(3) 小乗り入れ(南台小) PTA 給食試食会	23	日	
8	土	修学旅行(3)終	24	月	三者面談 補充学習② プール教室②
9	日		25	火	三者面談 補充学習③ プール教室③
10	月	学年朝礼 人権講演会(1) 振替休業日(3)	26	水	三者面談
11	火	租税教室(3)	27	木	三者面談
12	水	職員会議 部活再登校	28	金	三者面談
13	木	乗り入れ指導① 第4回専門委員会 中央委員会	29	土	
14	金	避難訓練	30	日	
15	土		31	月	三者面談終
16	日				

夢★未来プロジェクト「YOKOSO」プログラム

平成29年7月1日(土)は、アトランタ五輪女子バスケットボール日本代表 原田 裕花 様をお招きし、オリンピック・パラリンピック教育 夢★未来プロジェクト「YOKOSO」プログラムの特別授業(縦割りクラス別で実施 1校時A組、2校時B組、3校時C組)と特別講演会(4校時 全校)を実施します。ご多忙の折とは存じますが、ぜひご来校いただき、ご参観いただければ幸いです。

講師 アトランタ五輪女子バスケットボール日本代表

原田 裕花 (はらだ ゆか) 氏

全日本を含め、小学校から所属した全てのチームでキャプテンを務め、国内外で活躍した。二度の膝靭帯断裂という大怪我にみまわれながらも見事復活し、カムバック賞受賞。日本代表では、アトランタオリンピック7位入賞の原動力となる。

現在はスポーツキャスター・解説者として幅広く活躍。また講演活動や、スポーツ教室を通じて、スポーツの普及にも力を入れている。

